

院外処方箋に表示される検査値一覧

検査項目	下限値		上限値		単位	参考
	男性	女性	男性	女性		
白血球数	4000		9000		/μL	白血球の総数で、血液疾患や炎症性疾患、医薬品の影響などで値が変動することがあります。
Neutro	40		74		%	細菌・ウイルスなどの感染症、アレルギー反応、血液疾患の識別、などに用いられます。
血色素	14.0	12.0	18.0	15.0	g/dL	赤血球の中にあつて、酸素と二酸化炭素を運ぶ機能を持ちます。貧血の診断などに用いられます。
血小板数	13.0		40.0		10 ⁴ /μL	出血を止める働きを持つ血液成分の数です。医薬品の影響で低値を示す場合があります。
PT(INR)	-		-		-	血液凝固能の指標です。
CRP(定量)	0.5以下				mg/dL	身体のなかで炎症が起きているときに上昇します。
AST	10		40		IU/L	肝臓や心筋などの組織が障害されると血中に増加する酵素です。肝機能や心機能の指標となります。薬剤性肝障害でも高値を示します。
ALT	5		45		IU/L	とくに肝臓に多く含まれている酵素で、肝機能の指標となります。薬剤性肝障害でも高値を示します。
T-Bil	0.2		1.0		mg/dL	胆汁色素の主成分で、肝疾患の診断に用いられます。
Creat	0.60	0.40	1.10	0.70	mg/dL	腎機能の指標です。この値が高いと、腎機能が低下している事を示します。腎排泄されるお薬はこの値を元に投与量などが調節されることがあります。
推算GFR値	-		-		mL/min/1.73m ²	Creatと年齢、性別から算出される腎機能の指標です。この値が低いほど腎機能が低下している事を示します。
CPK	50	45	225	140	IU/L	筋肉に存在する酵素で、心筋梗塞や筋肉の障害で上昇します。
Na	137		147		mEq/L	細胞外に多く含まれるイオンで、浸透圧を調整するなどの働きがあります。
K	3.7		4.8		mEq/L	細胞内に多く含まれるイオンで、神経や筋肉の機能を正常に保つ働きがあります。
Ca	8.2		10.4		mg/dL	骨の主成分です。筋肉の収縮や神経の伝わりなどを調節する働きもあります。
Glu	70		115		mg/dL	血糖コントロールの指標になります。
HbA1c/NGSP	4.6		6.2		%	血糖コントロールの指標で、国際基準値で表示しています。